



秘密保護法施行 深まる懸念

千葉中央

千葉発
ロータス
正規ディーラー

千葉県総販売元

TOY BOX
48.com
GARAGE
SHIMAYA

Phone
043-286-2444

〒263-0005
千葉市緑区長沼町209

県内の天気

千葉	あす
銚子	晴
木更津	晴

きょうの予想
(千葉)

降水確率
朝70% 昼50% 晩10%
気温
最高14度 最低9度
南の風やや強く後北西の風

千葉支局
〒260-0013
千葉市中央区
中央3-4-8

コノノスピル4F
電話 043-224-8155
FAX 043-225-2271
mail:chiba@tokyo-np.co.jp
船橋 047-424-6381
市川 047-334-4151
松戸 047-344-0117
柏 04-7164-0057
成田 0476-23-0866
銚子 043-224-8155
木更津 0438-25-6501

「見るな、話すな」戦後も国民縛る

千葉から
千葉から語り継ぐ戦争

特定秘密保護法が十日、施行された。

「戦時中と同様に、また国民を縛ることになりはしないか」。房総

半島の戦跡の保存、研究に取り組む館山市のNPO法人「安房文化遺産フォーラム」代表、愛沢伸雄さん

(左)は戦争の「語り部」として、国民の知る権利を侵す恐れのある法律に懸念を隠せない。

(北浜修)

NPO法人代表

愛沢伸雄さん

JR館山駅から館山湾沿いを西へ約二・五キロ、海上上自衛隊館山航空基地に近い高台に、市指定史跡「館山

海軍航空隊赤山地下壕跡」がある。海軍航空隊は現在の海自基地の場所にあった。壕は合計の長さが約一・六キロ(公開部分は約二百五十㍍)と全国的に

大きななもので、市を代表する戦争遺跡だ。

内部の高さや幅は一定ではない。高さが三一・四㍍ほどの所もあれば、一般的の成

跡がある。海軍航空隊は、現在の海自基地の場所にあった。壕は合計の長さが約一・六キロ(公開部分は約二百五十㍍)と全国的に

少ないほどの部分もある。少ない証言などから、航空隊の事務施設や電信設備などがあつたとみられることが話していた。同フォーラム

地下壕跡の出入口下壕跡の内部で見学者に説明する愛沢さん(左端)

軍機保護法と重ね合わせ



「何が秘密であるかも秘密であるだろうか」と語る愛沢さん=いずれも館山市で



海軍地下壕 資料ほぼ現存せず

IV 軍機保護法を漏らした軍人や民間人を処罰する法律。明治時代につくられた。日中戦争の始まった1937(昭和12)年以前につくられた例はなく、軍部が本格的に作り上げた大きな地下壕が日本開戦の一九四一(昭和十六)年以前につくられた例はない。

市ホームページなどで、愛沢さんが見学者に話をしていた。同フォーラム

資料がほとんどないために

市はこまめに、何のために壕がいつ、何のためにつくられたのかは、

はっきりしない。

市は、大きな地下壕が日本開戦の一九四一(昭和十六)年以前につくられた例はない。

愛沢さんは、軍機保護法の見方を示している。

愛沢さんの見解は異なる。

館山は東京湾の入り口に位置し、首都防衛の要所だった。三〇(昭和五)年に実戦部隊の館山海軍航空隊が開設。四三(同十八)年には隣接地に、整備部門の航空隊として洲ノ崎海軍航空隊が置かれるなど、海軍

空襲として使われていた

見方が少されている。

歴史研究への影響も懸念する。「証言は一つ一つ検証する必要はあるが、まず誰かが証言しなければ歴史研究は始まらない。『何か秘密であるかも秘密』といふ社会でよいのだろうか」。そう語る表情は最後まで厳しかった。

の一大拠点だった。壕は、館山海軍航空隊の艦船や艦載機をコントロールする通信基地で、司令部や戦闘指揮所、病室、兵器貯蔵施設などを併せ持つ要塞だったとみている。

「日米関係が悪化している

く、対米開戦の前、三〇年代にはつくられたのではなかつた。戦争末期に単なる防空壕としてつくられたことは考えにくい

さうに重要な点として戦前、軍事機密を保護する目的で施行された軍機保護法に着目する。

「資料はないが、地下壕

が軍機保護法の対象であることは十分考えられる。

当然いつ、何の目的でつくられたか、市民には知らされなかつただろう」。市民

が空襲で赤山の壕に逃げ込んだといふ証言を得たこと

はあるが、周辺には多くの壕があり、場所は特定できなかつたという。

愛沢さんは軍機保護法と秘密保護法を重ね合わせる

空壕として使われていたところとして空襲が激しくな

った戦争末期、航空隊の防

空壕として使われていたところとして使われていた。

なつた方は多いと思う。戦

前の「見るな、話すな」と

いう社会のシステムは戦後

になつても国民を縛り続けた。同じことを繰り返すことになるのでは

」(大庭修)